

# 登山計画書

●目的地：赤井川カルデラ・エビス山（723m）

●期日：2019年2月10日（日）

●目的：赤井川カルデラを滑る

●参加者

L：船木 上総 63歳

SL：片倉 賢 65歳

M：高川博敏 66歳、丸谷聖一 63歳、日角彰 66歳、小野由紀子 46歳、佐々木尚三 62歳

M：山崎雄一郎 49歳、山崎靖子 49歳、牧野友香 36歳、佐々木右治 63歳

●行程

10日（日）冷水トンネル赤井川側駐車場（8:40）＝476 ポコ（9:30）＝エビス山（11:00）＝エビス山北斜面滑降（11:30～12:30）＝476 ポコ（13:20）＝冷水トンネル（14:00）＝赤井川温泉（14:30～15:30）＝右治宅（16:00）

●実際の行動

10日（日）晴れ後曇り、弱風、気温-10℃

9日の8時間行動と本祭の豪華料理と旨いお酒のラインナップで、あつというまに八内岳に行く気力は雲散霧消し、参加者全員でエビスの北斜面を目指すことで全会一致に至る。なんという柔軟性。

家主の右治も今シーズン入手した山スキーで参戦することになり総勢11人の大キャラバンとなった。4台に分乗して冷水トンネルを抜けた駐車場に車を停める。ここは広く除雪してあり、迷惑をかけることもなさそうだ。

昨日と思われるスノーシュートレースがエビス方面に1本残っていた。登りはそのトレースをほぼ踏襲しながら日本海とカルデラの景色を見ながらのんびりとエビスを目指す。雪は軽い。大黒山の北斜面には複数のシュプールあとが確認できた。

ピークから200mほど戻って北斜面への滑出し地点。昨年は斜面途中で大きなクラックがあったので、注意を促す。総勢11名、標高差200mに思い思いのシュプールを刻んだ。今合宿一番のコンディションに全員満足しながらC720m尾根頂部まで登り返し。右治が頑張ってくれました。

720m尾根からは広い疎林の東斜面が広がっており、気持ちが良い。あまりに気持ちよく滑っていると、はぐれ者が出る懸念もあったので斜面途中でバディを組んで滑ることにする。445mコルからシールを着けて476ポコまで。そこから旧道に向かって東斜面を一気に滑る。ややブッシュはあるものの、ここも面白かった。旧道上を400m程トレース地点まで登り、あとはトレースを使ってあつというまに駐車場に到着。5時間行動くらいが、ちょうど良い負荷だと60代は勝手に納得する。道道を降りると10分ほどで赤井川カルデラ温泉に着く。気持ちよく汗を流して合宿終了を全員で祝うと同時に来年もやるぞーという決意表明をして、合宿を締めくくった。

右治・かよちゃん夫妻には快く、我々を迎えていただき感謝に耐えられません。来年もよろしく願いたします。

# 登山計画書

